

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

(各二十点 計六十)

ー写真にも、アップでとったものとルーズでとったものがあります。新聞を見ると、伝えたい内ように合わせて、どちらかの写真が使われている事が分かります。紙面の広さによってはそれらを組み合わせることもあります。取材のときには、いろいろな角度やきりからから、多くの写真をとっています。そして、その中から目的にいちばんあうものを選んで使うようにしています。

2 同じ場面でも、アップとルーズのどちらで伝えるかによって伝わる内ようがかわってしまう場合があります。だからこそ、送り手は伝えたいことに合わせて、アップとルーズを選んだり、組み合わせたりする必要があります。みなさんも、クラスの友達や学校のみんなに何か伝えたいと思うことがあるでしょう。そのときにはある部分を細かく伝える「アップ」と、広いはんいの様子を伝える「ルーズ」があることを思い出しましょう。そうすることで、あなたの伝えたいことをより分かりやすく、受け手にとどけることができるはずです。

出典『アップとルーズで伝える』中谷日出

(二)ーのだんらくにはどんなことが書かれていますか。次の中から正しいものを一つ選びましょう。

テレビでは、アップとルーズの写真が両方使われている。

イ新聞で使われている写真は、いろいろな角度やきよりでとってはいない。

ウ 新聞では目的に合わせて、写真を使い分けている。

工新聞に使われている写真は、紙面の広さに関係なくいいものを使っている。

(二) 2のだんらくには「アップ」と「ルーズ」の伝え方の持ちようが書かれています。筆者はそれぞれをどのように述べていますか。八字で書きぬきましょう。

・アップ:

伝える

- ・ルールズ：

を伝える

新聞委員の小野さんと今村さんは、「時のきねん日」についてとく集した内ようを六月号の学校新聞に書こうと考え、次の【しりよう】を見つけました。

これをよく読んで、あとの(問い)に答えましょう。(各二十点 計四十点)

二

【しりょう】 だんらくのはじめにある数字は、そのだんらくの番号をしめています。

「時のきねん日」はどんな日？

昔の人は、空での太陽や星の動き方、水やすなの落ち方、線香せんこうのもえ方などで時間を計っていました。日本ではじめて作られた時計は、中国からつたわつた「漏刻ろうこく」といって、水が次々に落ちていくことで時間を計る水時計であつたと言われています。

2 「日本書記」には、「天智天皇の十年四月二十五日（今の暦では六七一年六月十日）に漏刻で計った時間を、かねやたいこを鳴らして人々に知らせた」と書かれています。このことから、大正時代になってこの日が「時のきねん日」となりました。

3 「時のきねん日」は、時間を守って行動し、きそく正しい生活を心がけ、時間を大切にしようとするいしきを高めていくために定められたとされています。

4 「時のきねん日」は、国民の祝日にはせい定（※①）されていませんが、多くの人々によく知られるきねん日となっています。 しゅんじつ

5 現在、六月十日には、時間や時計にかんするもよし(※②)が行われているところもあります。

※①せい定…きそくなどを定めること

(問い) 小野さんは、「なぜ六月十日が『時のきねん日』なのか」、今村さんは、「なぜ『時のきねん日』をせっていしたのか」についてまとめています。二人は「しりょう」のどのだんらくを中心に読めばよいですか。もっともふさわしいだんらくを【しりょう】の中からそれぞれ一つえらんで、その番号を書きましよう。

・小野さん・

・今村さん・
・
・

各
10
点